

Cubase 6を外部レコーディング機器と同期させたい(MTC+MMC同期)

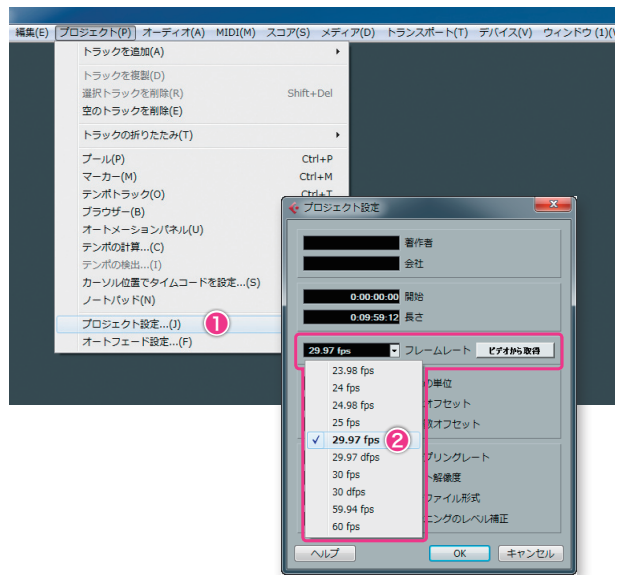
Cubase
Artist

外部レコーディング機器との間ではMIDIクロックやMTCだけを利用した同期走行以外に、それらとMMC(MIDIマシンコントロール)を組み合わせて、トランスポート操作全般を同期させることも可能です。ここではCubase6側で外部レコーディング機器のトランスポート操作がコントロール可能となるセッティングを、Macintosh版のPro Tools 10 Softwareとの組み合わせで紹介します。

1 フレームレートを設定する【Cubase 6側】

以下の説明内容は、同期相手がMacintosh版のPro Tools 10 Software以外のDAWソフトやHDRであっても基本的に変りませんので、そのつど読み替えてください。

ではまずCubase 6のプロジェクトメニューから**プロジェクト設定**①を選び、プロジェクト設定ダイアログを開きます。このダイアログで同期に用いるフレームレート②を設定します。画面では例として29.97fpsを選んでいます。



2 フレームレートを設定する【Pro Tools 10 Software側】

次にPro Tools 10 Software側のフレームレートを設定しましょう。

設定メニューの**セッション**を選ぶとセッション設定ダイアログが現れるので、右側にある**タイムコードレート**をSTEP 1でCubase 6側が設定したのと同じもの(29.97FPS)に設定します①。

さらに、トランスポートパネルで**GEN MTC**②をクリックしてオンにします。

